



2022年12月22日

各 位

会 社 名 株式会社トリプルワン
(コード番号 6695 TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役社長 佐川 達也
問合せ先 取締役企画・管理本部長 都留 顕二
T E L 03-6910-1651
U R L <https://www.tripleone.net/>

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2021年12月28日に公表いたしました2022年10月期の通期業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年10月期 通期業績予想数値の修正 (2021年11月1日～2022年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,301	310	307	215	1,221.21
今回発表予想 (B)	2,927	206	208	130	641.37
増 減 額 (B-A)	△ 373	△ 103	△ 99	△ 84	
増 減 率 (%)	△ 11.3	△ 33.5	△ 32.2	△ 39.5	
(ご参考) 前期実績 (2021年10月期)	3,624	170	171	112	640.09

2. 修正の理由

通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症を発端とする半導体製造施設及び原材料供給工場の稼働停止、半導体チップを使用する耐久消費財の需要急増等による半導体製造用部材価格の高騰や在庫不足に伴い、当社製品の基幹部品であるロボットアーム等の資材調達に時間を要し、生産スケジュールに影響が生じたことにより、売上高は前回発表予想3,301百万円から2,927百万円に減少する見通しです。

また、製造原価の増加により売上高総利益につきましても減少する見通しです。製造原価の主な増加要因は、部材価格の高騰及び人件費の増加になります。一方で、販売費及び一般管理費においては、本社及び横浜事業所の移転費用、設備投資に伴う減価償却費の増加等により、営業利益が前回発表予想310百万円から206百万円に、経常利益が前回発表予想307百万円から208百万円に、当期純利益が前回発表予想215百万円から130百万円にそれぞれ減少する見通しです。

(注) 上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後様々な業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。

以上